

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2026年6月30日

一宮市長殿



提出者

住所 488-0826

愛知県尾張旭市大塚町2-13-12

氏 名 大林道路株式会社 尾張営業所

所長

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-771-8407

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大林道路株式会社 尾張営業所
事業場の所在地	愛知県尾張旭市大塚町2-13-12 (一宮市内)
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合建設業 小分類:舗装工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1481t	全 処 理 委 託 量	1481t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	19t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1461t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	1
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 別 紙 〕

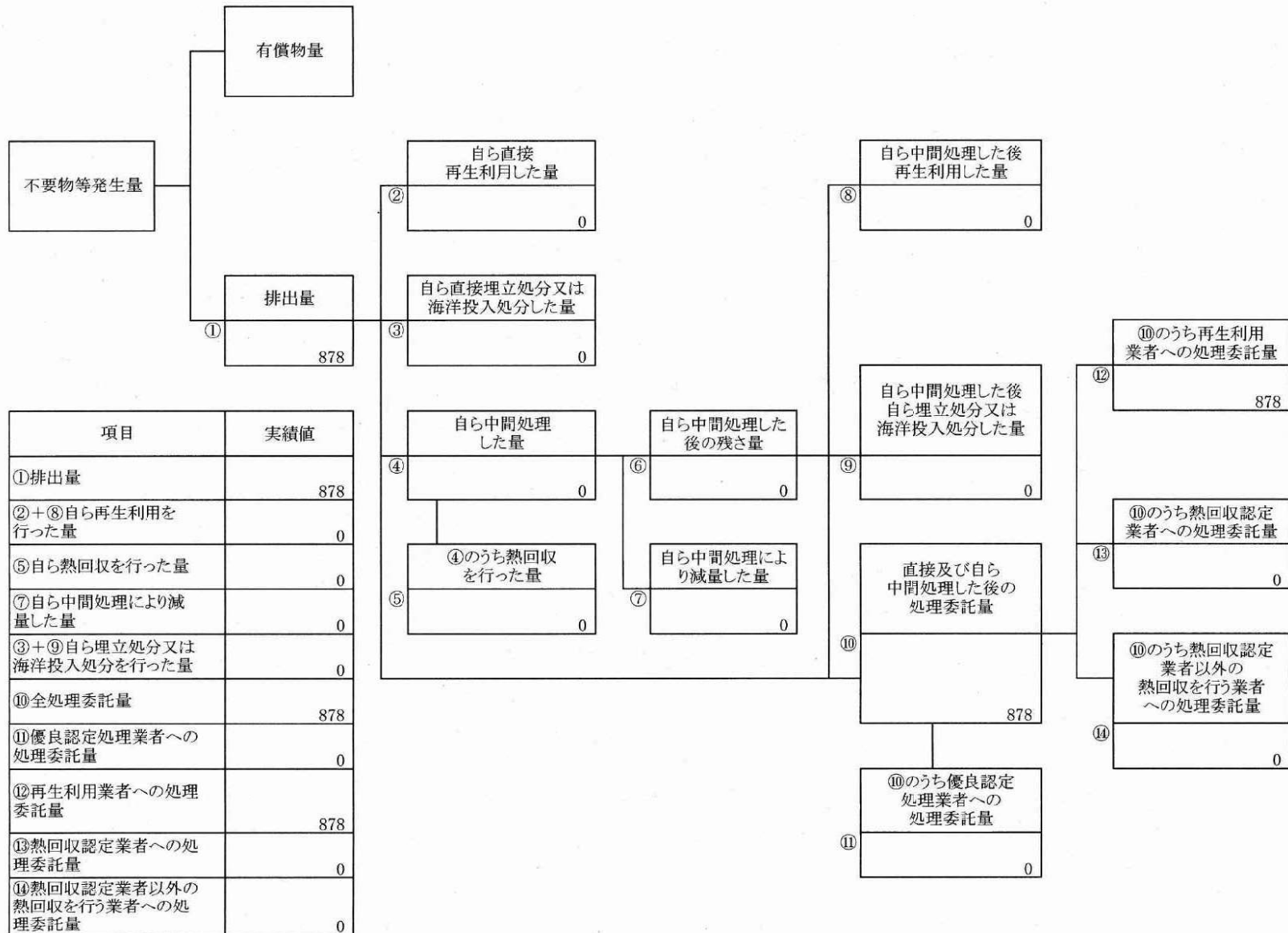
場 出 者					
住 所	名 称	電話番号	担当者名	電話番号	FAX
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号
愛知県尾張旭市大塚町2-13-12	大林道路株式会社 尾張営業所	大林道路株式会社 尾張営業所		052-771-1407	052-778-8274
					shota.yamashita@daikin.co.jp

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況														②+③		③+④
コード	名 称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接焼立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量(t)	⑤④のうち、熱 回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した 量(t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑩自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑪自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑫自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑬自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑭自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑮①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮	⑯①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮	⑰①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮
コード	名 称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接焼立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量(t)	⑤④のうち、熱 回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した 量(t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑩自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑪自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑫自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑬自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑭自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑮①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮	⑯①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮	⑰①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮
1	1502 ①アスコン破片	878						0								878	878	0
2	1501 ②コンクリート破片	573						0								573	573	0
3	2200 ③管理型混合廃棄物	1						0								1	1	0
4	1200 ④金属くず	0						0								0	0	0
5	600 ⑤廃プラスチック	7						0								7	7	0
6	800 ⑥木くず	8						0								8	8	0
7	221 ⑦建設汚泥	10						0								10	10	0
8	700 ⑧紙くず	1						0								1	1	0
9	1500 ⑨がれき類	1						0								1	1	0
10	2100 ⑩安定型混合廃棄物	0						0								0	0	0
11	200 ⑪汚泥	1						0								1	1	0
12	⑫							0										0
13	⑬							0										0
14	⑭							0										0
15	⑮							0										0
16	⑯							0										0
17	⑰							0										0
18	⑱							0										0
19	⑲							0										0
20	⑳							0										0
合計		1,481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,481	1,481	19

(注1)トン未満は四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加していただく。

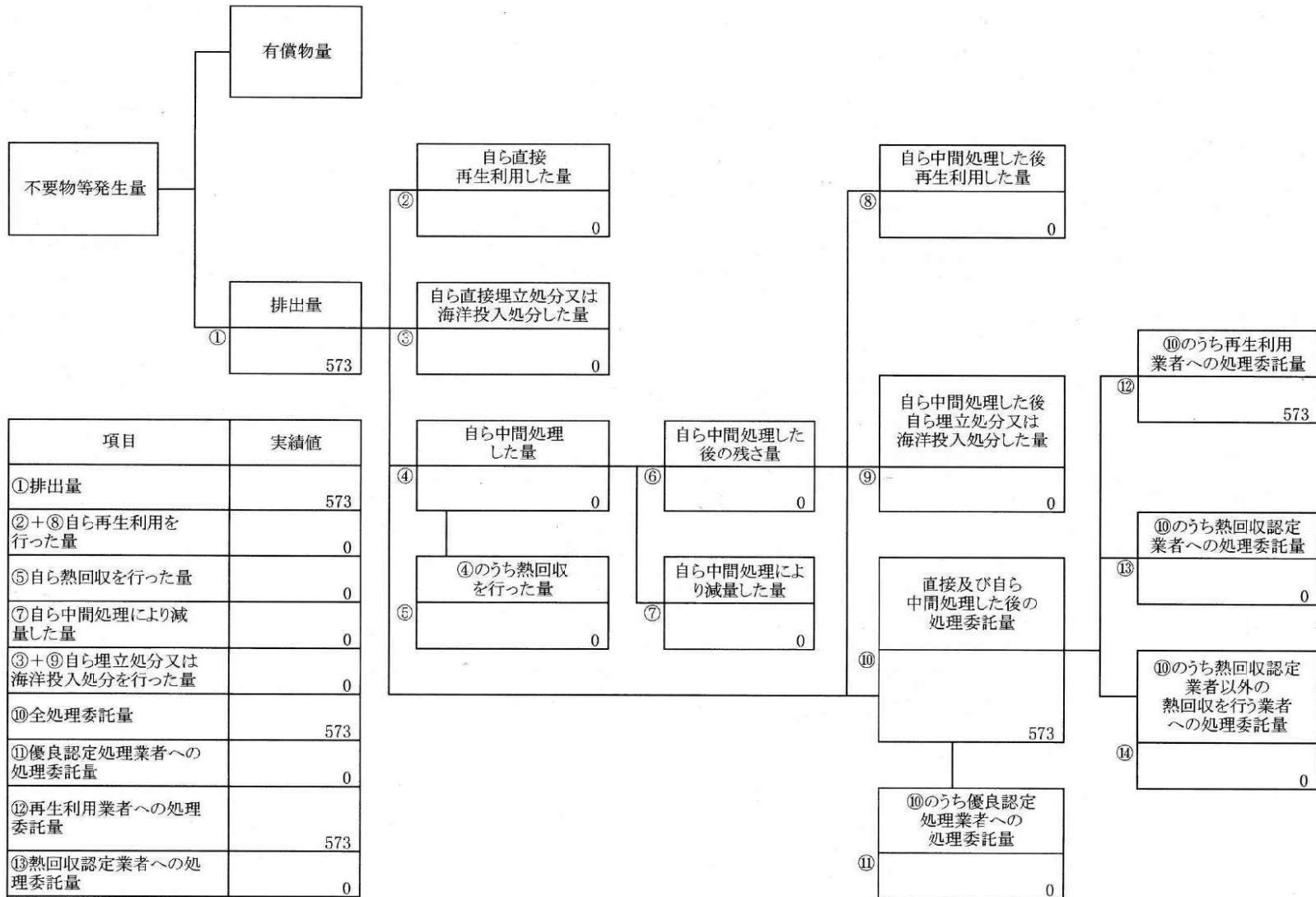
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①アスコン破片)

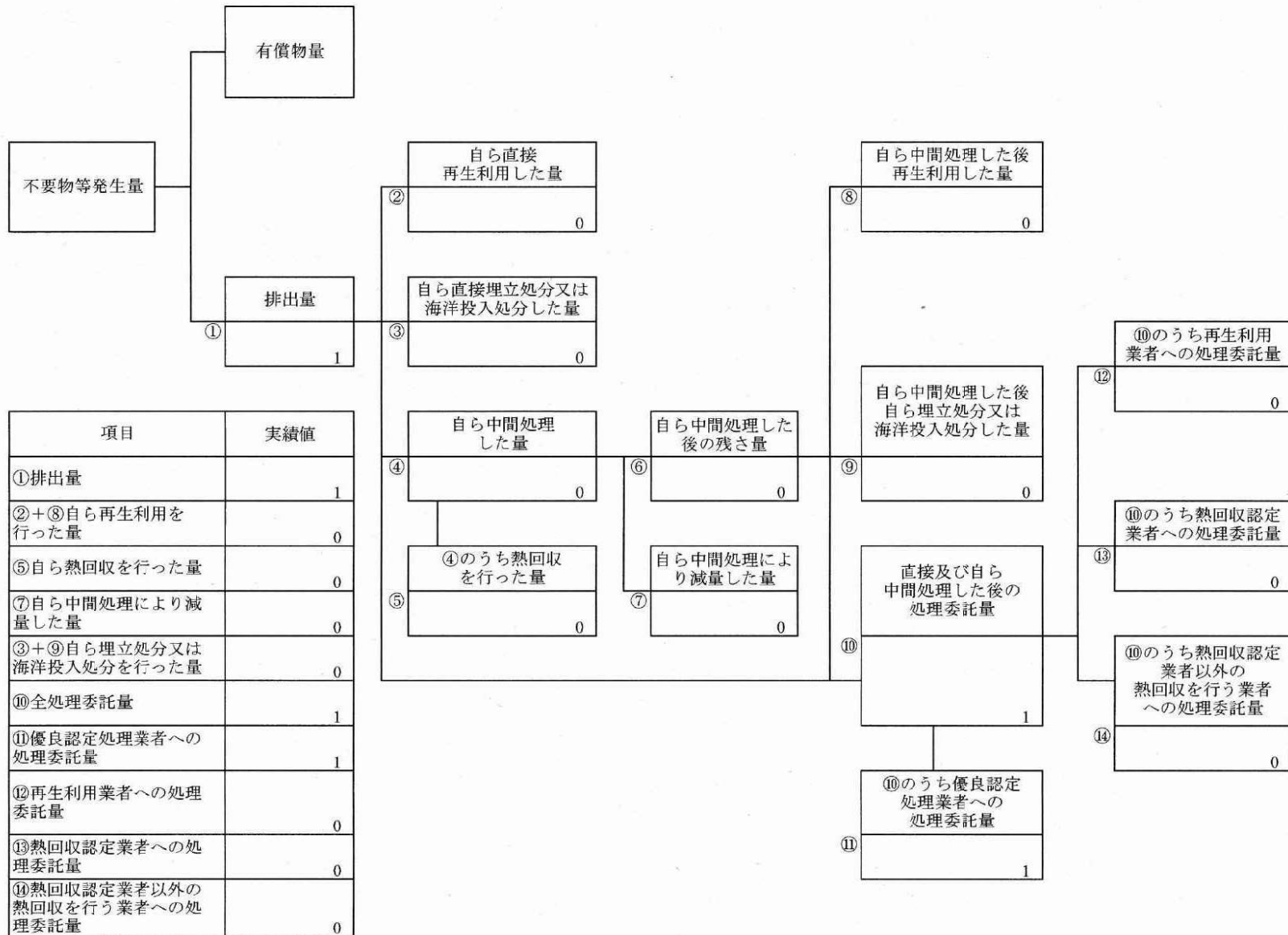


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②コンクリート破片)



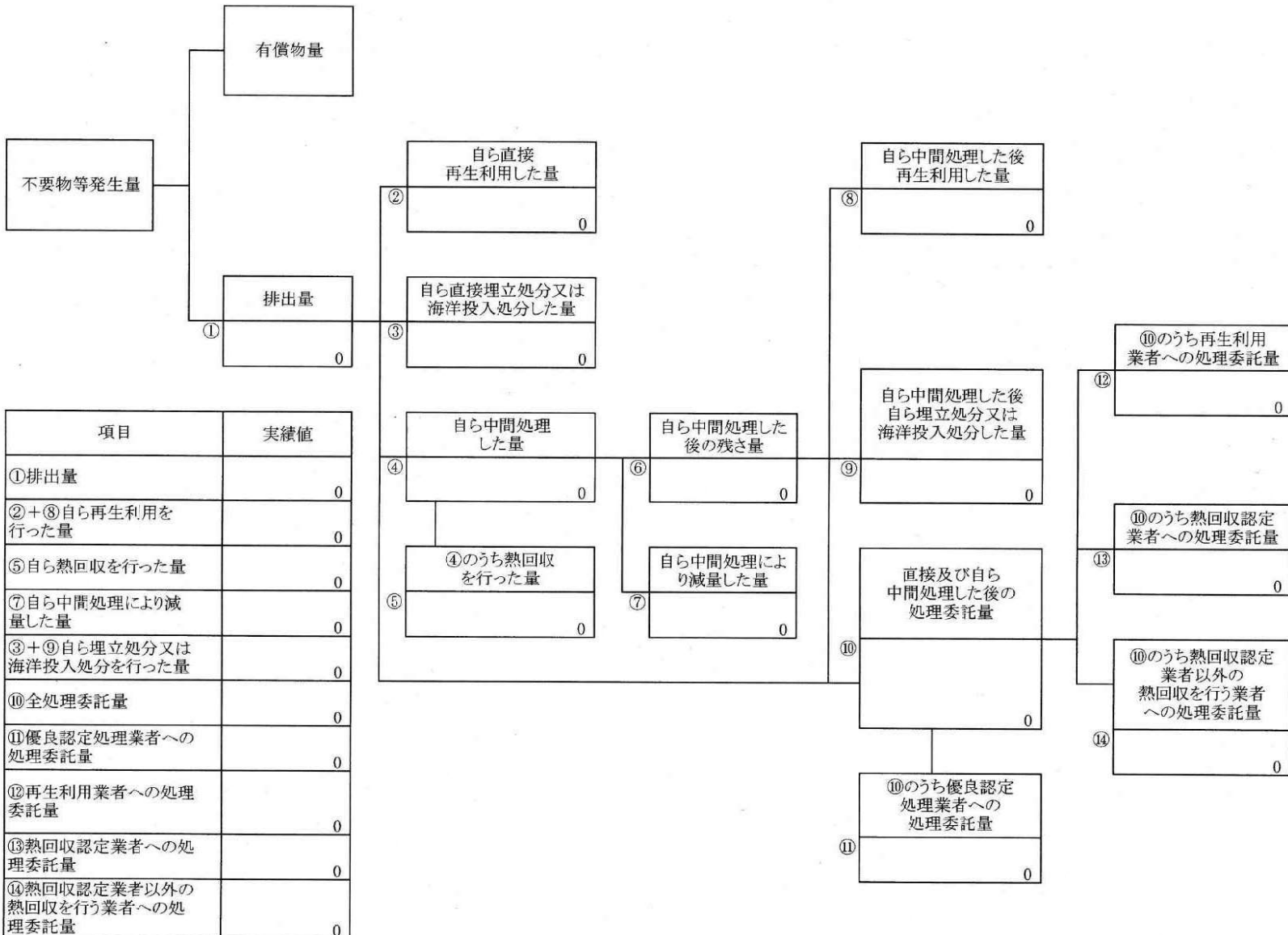
(産業廃棄物の種類: ③管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

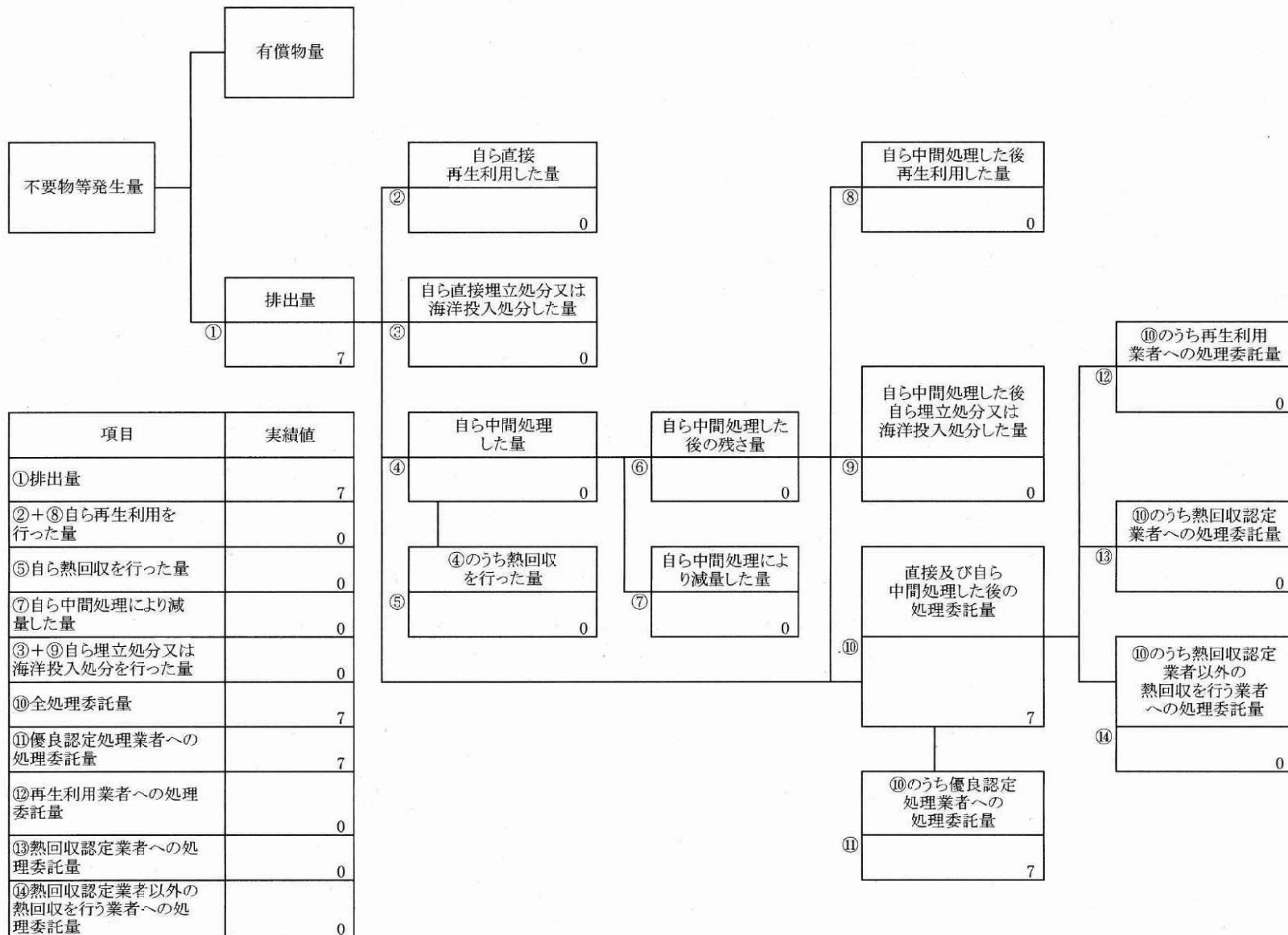
(産業廃棄物の種類: ④金属くず)

(第2面)



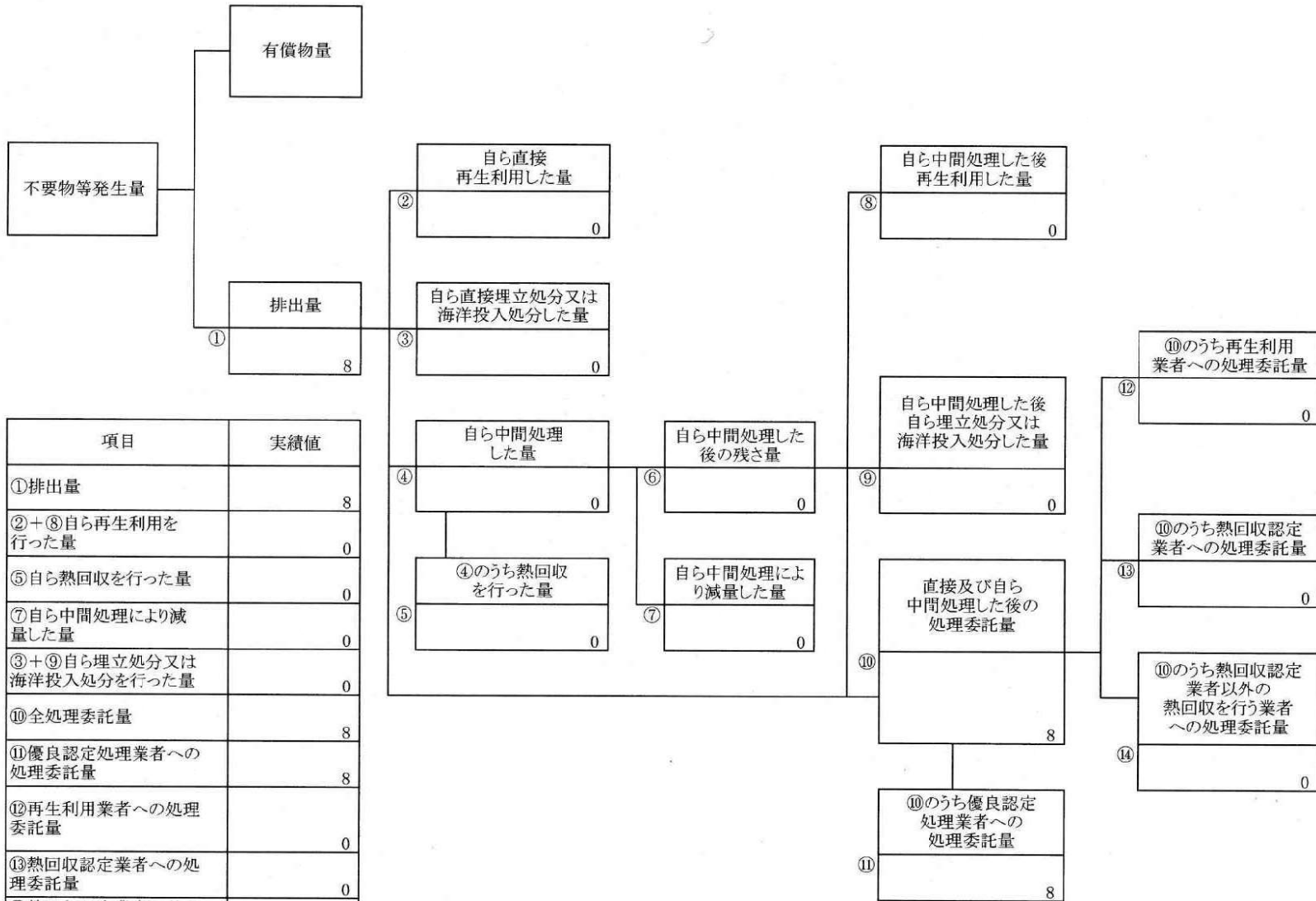
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤廃プラスチック)



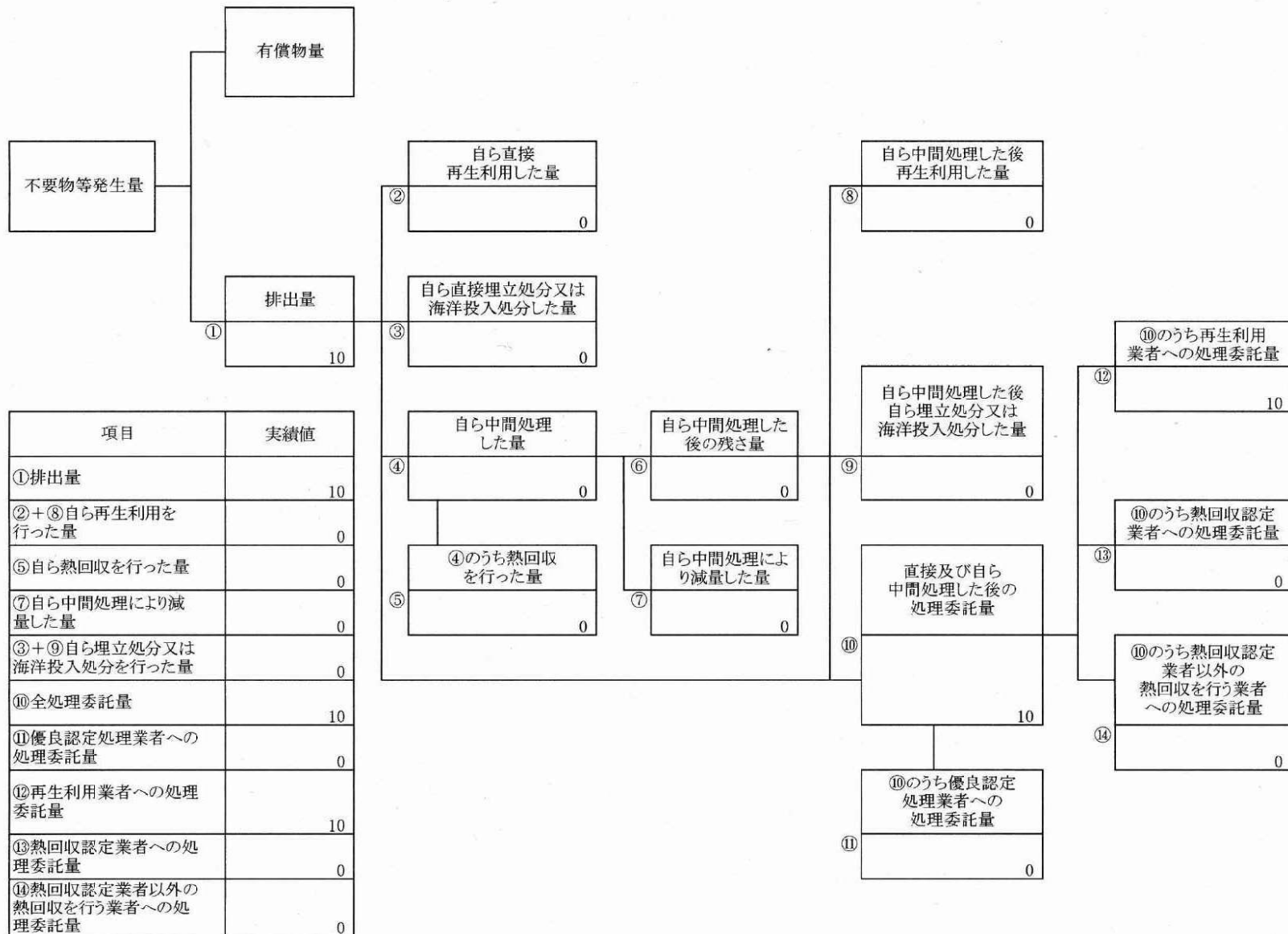
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥木くず)



計画の実施状況

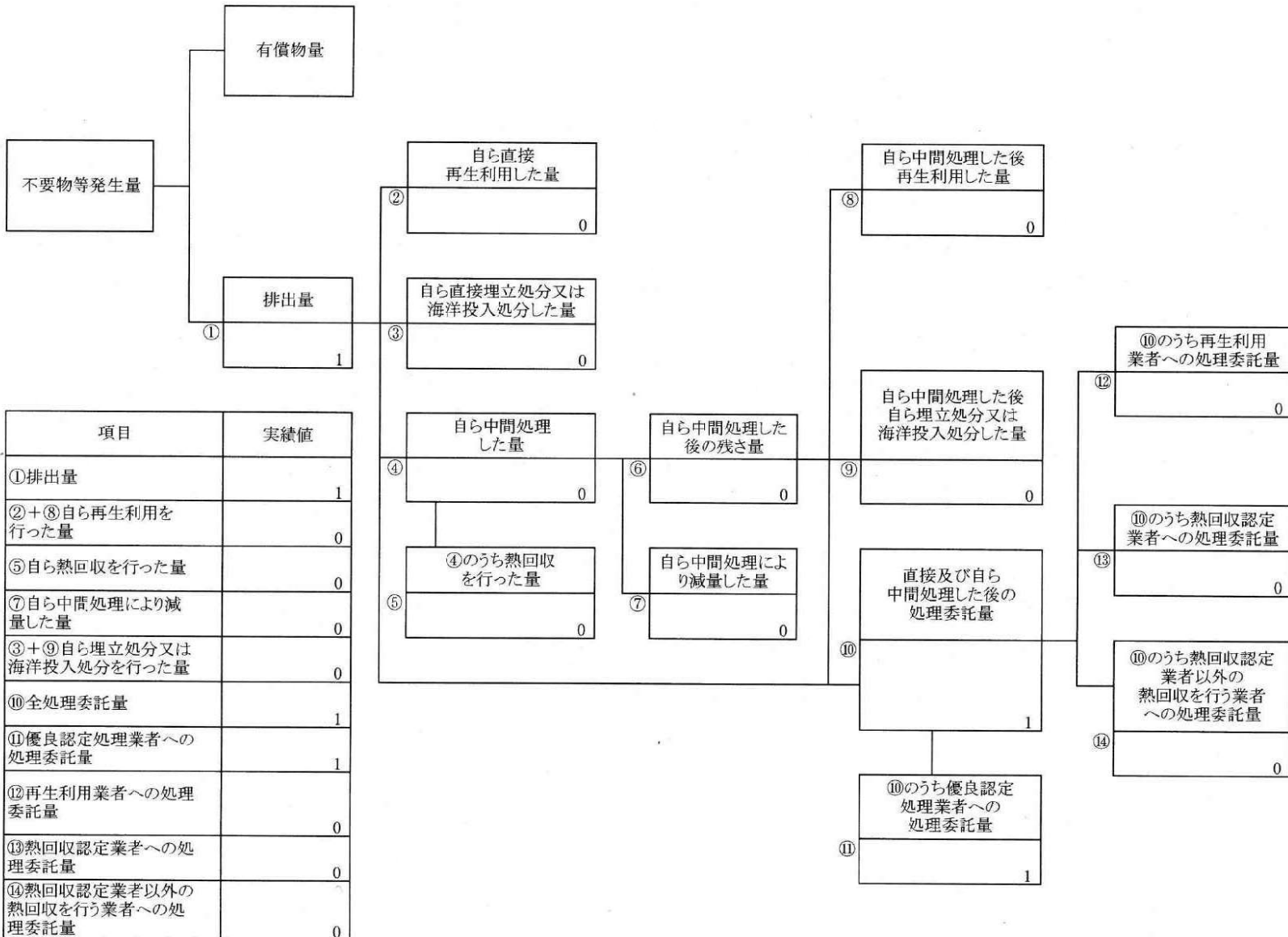
(産業廃棄物の種類: ⑦建設汚泥)



計画の実施状況

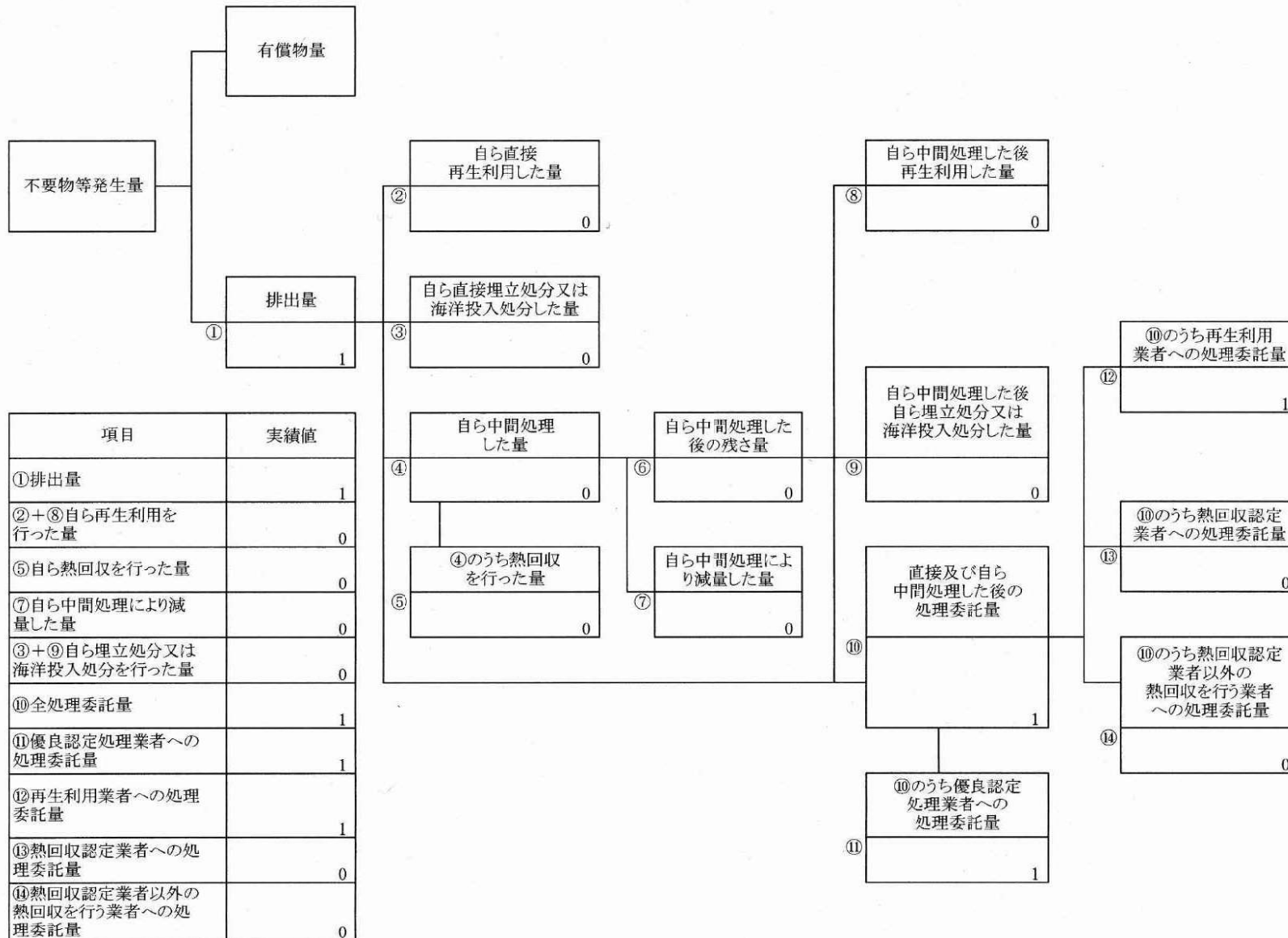
(産業廃棄物の種類: ⑧紙くず)

(第2面)



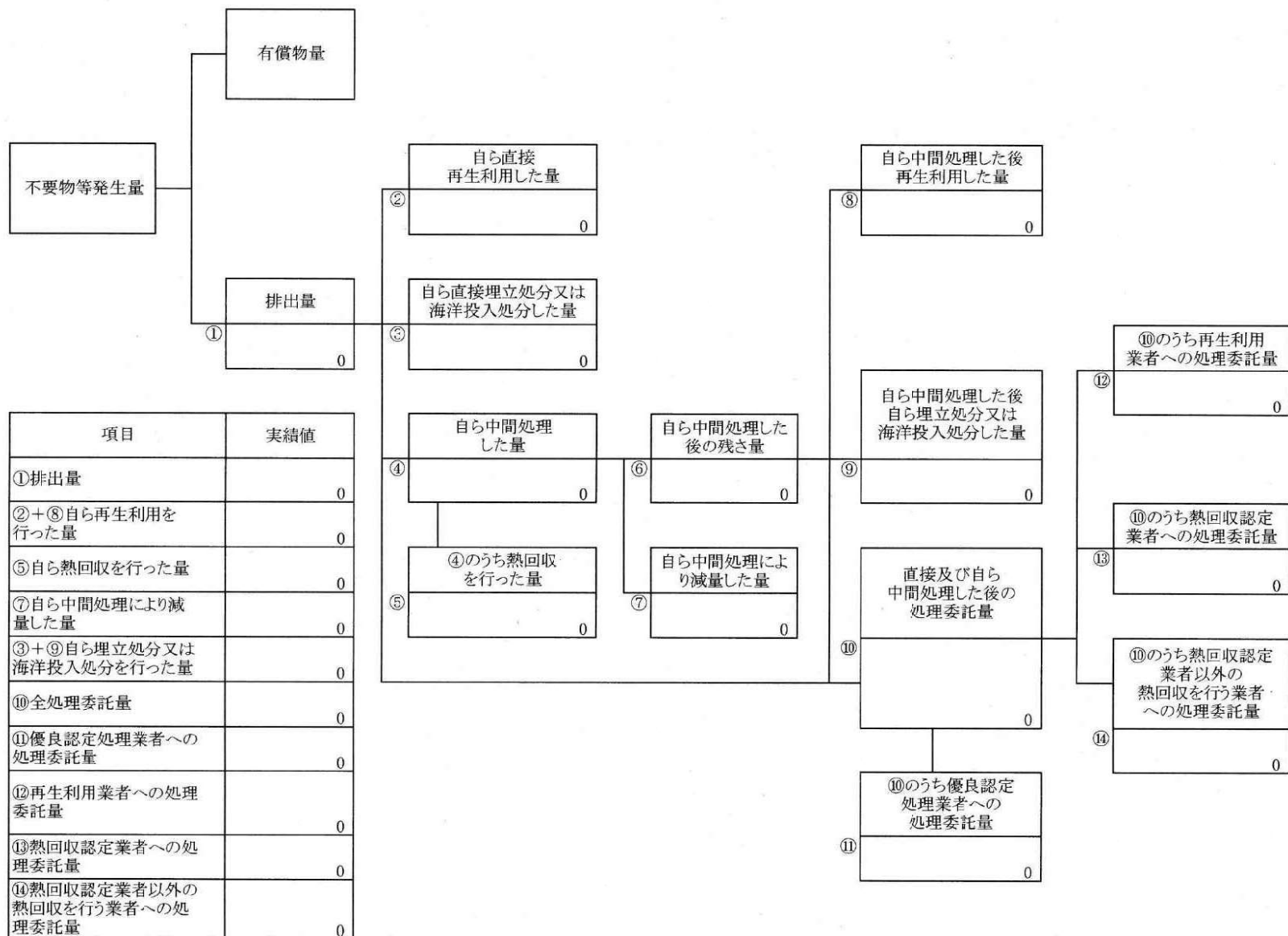
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑨が がれき類)



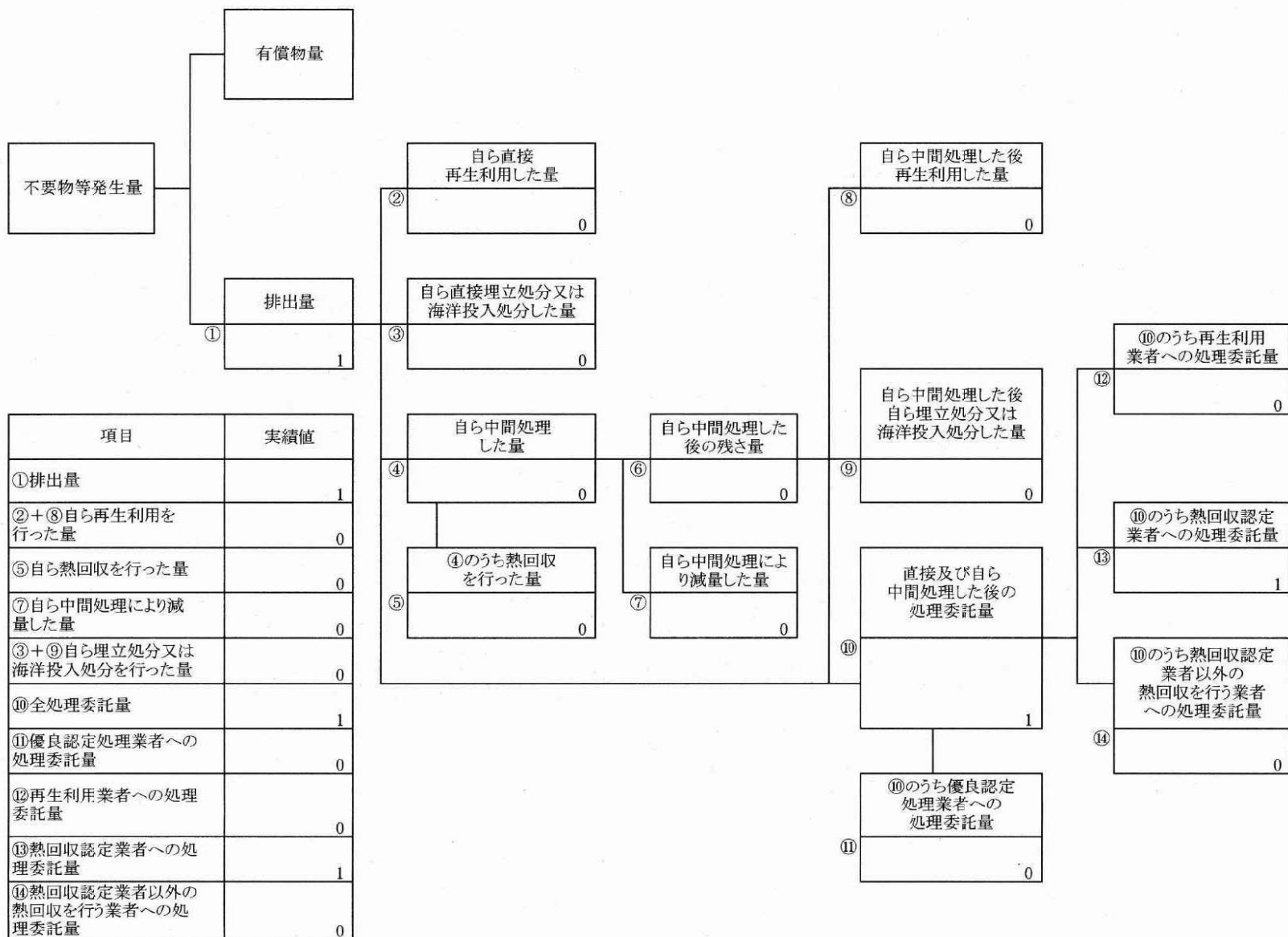
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩安定型混合廃棄物)



(第2面)

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。